

第1学年 国語科 年間指導計画

担当	上野竜哉 平山壽子	教科 目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。
教科書 副教材、用具		光村図書「国語１年」、新・基礎の学習国語１（新学社）、新・国語の便覧（正進社）、 つまづかない文法（新学社）、国語辞典、漢和辞典、習字道具（毛筆）	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	朝のリレー 野原はうたう 声を届ける シンシユン	○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ・詩を通読する。 ・速さ、声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の高さを変えて音読する。 ・音読・発表のしかたを理解する。 ○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 ・作品を通読し、全体像を捉える。 ・場面の展開に沿って、二人の関係の変化を整理する。 ・読み深めた感想を交流する。	<知識・技能> 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。（音読、ワークシート） <主体的に取り組む態度> 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読をしようとしている。（音読、振り返りシート） <知識・技能> 事象や行為、心情を表す語句の量を増すと同時に、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して作品を読み進めている。（ワークシート） <思考・判断・表現> 場面ごとに会話や描写を整理して、登場人物の心情や関係の変化を捉えている。（ワークシート） <主体的に取り組む態度> 場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。（交流、ワークシート）
5	情報を的確に聞き取る 情報整理のレッスン 情報を整理して書こう	○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えることができる。 ・情報を的確に聞き取る必要がある場面を挙げる。 ・連絡を聞き、メモを取る。 ・効果的なメモの取り方を確かめる。 ○目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・情報を分類する方法を確かめる。 ・目的や相手を明確にして題材を決める。 ・集めた情報を整理し、構成を考える。	<知識・技能> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深めている。（ワークシート） <思考・判断・表現> 情報を的確に聞き取り、要点を押さえてメモしている。（聞き取りメモ） <主体的に取り組む態度> 進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。（観察） <知識・技能> 情報の整理のしかたを理解し、情報を比較したり、分類したりしている。（ワークシート） <思考・判断・表現> 目的や相手を意識して、情報を集めて整理し、説明の文章の構成を考えている。（ワークシート） <主体的に取り組む態度>

6	ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 思考のレッスン 1 意見と根拠 好きなことをスピーチで紹介する	・下書きをし、文章にまとめる。 ○原因と結果意見と根拠など情報と情報との関係について理解し、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。 ・本文を通読し、段落相互の関係や文章の構成を捉え、要旨を把握する。 ・説得力のある根拠について考え、適切な意見と根拠の結びつきを捉える。 ○話の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えることができる。 ・話題を決め、材料を選ぶ。 ・話の構成を考える。 ・スピーチの練習をする。 ・スピーチの会を開く。	集めた材料を貼り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明しようとしている。(ワークシート) <知識・技能> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。(ノート) <主体的に取り組む態度> 学習課題に沿って、積極的に意見と根拠の関係について理解しようとし、考えたことを伝え合おうとしている。(意見交流) <知識・技能> 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(スピーチ) <思考・判断・表現> 聞き手を想定し、伝えたいことが明確になるように構成を考え、話す順番を工夫している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 話の構成を貼り強く考え、学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。(スピーチ)
7	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう 詩の世界 比喩で広がる言葉の世界	○目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・調べる内容を絞り込む。 ・調べ方を考え、情報を集める。 ・情報を読み取り、情報の適切な引用のしかたを考える。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・詩を読んで、感じたことを交流する。 ・描かれた情景や表現の効果について話し合う。 ・三編の詩の表現を参考にして、詩を作る。	<知識・技能> グラフや文章の中の情報を関連づけて情報を整理し、引用のしかたや出典の示し方を理解している。(ワークシート) <思考・判断・表現> 調べたいテーマについて、本やインターネットを活用して情報を集め、整理し、伝えたいことを明らかにして書いている。(ワークシート、作文) <主体的に取り組む態度> 引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。(振り返りシート) <知識・技能> 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 自分の思いが読み手に伝わるように、言葉や表現を工夫して詩を書いている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度>

	読書を楽しむ 読書案内 本の 世界を広げよう 読書コラム 本 との出会い	○言葉がもつ価値に気づくとともに、 進んで読書をし、我が国の言語文化を 大切にして、思いや考えを伝え合おう とする。 ・教材文を通読し、さまざまな読書活 動を知る。 ・「ポップ作り」、「読書掲示板」、「読 書記録」の中から、夏休みに行う活動 を選ぶ。 ・それぞれの活動で作成したポップ や感想記録した読書ノートなどを夏 休み明けに提出する。	文章の構成や展開、表現の効果につい て積極的に考え、学習の見通しをもつ て詩を創作しようとしている。(ワーク シート) <知識・技能> 読書が、知識や情報を得たり、自分の考 えを広げたりすることに役立つことを 理解している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 読書が、知識や情報を得たり、自分の考 えを広げたりすることに役立つことを 進んで理解し、今までの学習を生かし て本の魅力や感想を伝え合おうとして いる。(ポップ、読書ノート)
9	大人になれなか った弟たちに… 星の花が降るこ ろに	○場面の展開や登場人物の相互関係、 心情の変化などについて、描写を基に 捉えることができる ・作品を通読し、描写に着目して登場 人物の心情を捉える。 ・印象に残った場面や描写を語り合 う。	<知識・技能> 様子や動きを何かにたとえた表現を探 し、どのような情景や気持ちをたとえ ているのか考えている。(ワークシー ト) <思考・判断・表現> 場面ごとの状況や、場面と人物などの 描写を結び付けて、内容を読み深めて いる。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで場面と場面、場面と描写などを 結び付けて内容を解釈し、学習の見通 しをもって考えを伝え合おうとしてい る。(グループワーク)
	聞き上手になろ う 質問で話を引き 出す	○必要に応じて記録したり質問した りしながら話の内容を捉え、共通点や 相違点などを踏まえて、自分の考えを まとめることができる。 ・きき方の工夫や質問の種類を知る。 ・「夏休みのいちばんの思い出」をテ ーマに対話の練習をする。	<知識・技能> 話す速度や音量、言葉の調子や間の取 り方などに注意しながらスピーチをし ている。(スピーチ) <思考・判断・表現> 聞いたことを基に、質問のしかたを工 夫して聞き、話をしながら話を十分に 理解しようとしている。(スピーチ) <主体的に取り組む態度> 進んで記録したり質問したりしながら 話の内容を捉え、今までの学習を生かし て話を引き出そうとしている。 (グループワーク)
10	「言葉」をもつ鳥、 シジュウカラ 思考のレッスン 2原因と結果	○原因と結果、意見と根拠など情報と 情報との関係について理解し、文章の 構成や展開について、根拠を明確にし て考えることができる。 ・原因と結果を表す言葉を例文から 抜き出す。 ・文章の構成と内容を捉える。 ・論の展開に着目し、の効果を考え る。	<知識・技能> 原因と結果、意見と根拠など情報と情 報との関係について理解している。(ワ ークシート) <思考・判断・表現> 文章の構成や展開について、根拠を明 確にして考えている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 文章の構成や展開について粘り強く考

	根拠を示して説明しよう 資料を引用してレポートを書く	○根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 ・課題を決め、調査を行う。 ・調査結果を整理し、構成を考える。 ・図表などを引用してレポートを作成する。	え、学習の見通しをもって考えたことを文章にまとめようとしている。(ワークシート) <知識・技能> 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(ワークシート、レポート) <主体的に取り組む態度> 文章の構成や展開を粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。(ワークシート)
11	話合いの展開を捉える 話題や展開を捉えて話し合おう グループ・ディスカッションをする	○話題や展開を捉えながら話合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめることができる。 ・話合いの話題を決め、目的を明確にする。 ・自分の考えをまとめる。 ・司会と書記を決め、グループで話し合う。 ・話合いの結果を報告する。	<知識・技能> 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。(話合い) <主体的に取り組む態度> 積極的に互いの発言を結び付けて考えをまとめ、学習の見通しをもってグループ・ディスカッションをしようとしている。(話合い、ワークシート)
	いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝 今に生きる言葉	○音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。 ・作品を通読する。 ・古典の文章について、現代の文章との違いを確かめる。 ・描かれている古典の世界を想像する。	<知識・技能> 音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(音読) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで古文を音読し、学習課題に沿って描かれている古典の世界を想像しようとしている。(音読、ワークシート)
12	「不便」の価値を見つめ直す 根拠を明確にして、意見をまとめよう	○目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ・本文を通読し、筆者の考えを要約する。 ・根拠を明確にして、意見をまとめる。	<知識・技能> 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(ワークシート)

	考える人になろう 君たちはどう生きるか たのしい制約	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる ・「君たちはどう生きるか」「たのしい制約」の文章を読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・文章を読んで考えたことをグループで発表し合う。	「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(作文) <主体的に取り組む態度> 積極的に必要な情報に着目して要約し、自分の考えを文章にまとめようとしている(ワークシート) <知識・技能> 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを積極的に理解し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。(話し合い、ワークシート)
1	少年の日の思い出	○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることができる。 ・作品を通読し、展開を捉える。 ・「僕」の心情の変化をまとめる。 ・別の人物の視点から文章を書き換える。	<知識・技能> 事象や行為、情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。(ワークシート) 「書くこと」において、別の人物を選び、その人物の心情や行動が明確になるように構成や展開を工夫して書いている。(作文) <主体的に取り組む態度> 文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。(ワークシート)
	随筆二編	○場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。 ・作品を通読し、筆者の考えや思いについて話し合う。 ・自分の体験を振り返って伝え合う。	<知識・技能> 事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 「読むこと」において、場面と場面、場

2	構成や描写を工夫して書こう 体験を基に随筆を書く さまざまな表現技法	○書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えることができる。 ・随筆の題材を選ぶ。 ・具体的な材料を書き出し、構成を考える。 ・随筆を書く。 ○比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。 ・表現技法によるリズムの違いや効果について考える。 ・比喩の種類による印象の違いを考える。	面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。(ワークシート) <知識・技能> 体験や思いを伝えるために、情景や心情を表す言葉を適切に選んで使っている。(ワークシート) <思考・判断・表現> 読み手に状況がイメージできるように、書く内容の中心が伝わるように、構成を工夫している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 粘り強く文章の構成や展開を考え、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。(ワークシート) <知識・技能> 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。(ワークシート) <主体的に取り組む態度> 積極的に比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し、学習課題に沿ってそれらを使おうとしている。(ワークシート) <知識・技能> 情報の整理のしかたを理解し、要点をわかりやすくフリップにまとめている。(フリップ) <思考・判断・表現> 「話すこと・聞くこと」において、相手の反応を踏まえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(発表) 「書くこと」において、目的や意図に応じて日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(ワークシート、フリップ) <主体的に取り組む態度> 集めた材料を積極的に整理し、今までの学習を生かして要点をフリップにまとめ、発表しようとしている。(ワークシート)
3	一年間の学びを振り返ろう 学習を振り返ろう	○目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め。集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 ・観点を決め、一年間の学習を振り返る。 ・集めた情報を整理し、発表内容を決める。 ・話の構成を考え、フリップを作る。 ・グループ内で発表する。	

第1学年 国語科書写 年間指導計画

1学期	硬筆	正しい筆使いを確かめる。	整った字を正しく書く
2学期	毛筆	漢字と平仮名を調和させる 手紙を書こう。 掲示物をつくる。	ことができたか。 漢字と平仮名が調和して いたか。
3学期	毛筆と硬筆	行書の書き方を理解する。	整った字を書くことが できたか。

※その他年間を通して作品作りをおこなう。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	- 定期考査 - 漢字テスト - 小テスト - 聞き取りテスト - 話し合い活動 - 発表 - 作文 - 授業やワークシート等への取り組み状況 - 書写（硬筆、毛筆）	- 定期考査 - 小テスト - 聞き取りテスト - 話し合い活動 - 発表 - 作文 - 作品 - 授業やワークシート等への取り組み状況	- 授業や提出物、ノート、ワークシート等、粘り強く取り組む様子を評価する。 - 話し合い活動や発表、暗唱などに粘り強く取り組む様子を評価する。 - 定期考査における解答から、粘り強く答えようとしている様子を評価する。
比率	1／3	1／3	1／3

学習のアドバイス

- ・一時間一時間の授業を大切にしましょう。
- ・復習できるように、授業内容をノートにまとめましょう。（必要なメモをとる力を付けましょう。）
- ・定期的な漢字のテストにしっかり取り組みましょう。
- ・教科書と副教材（国語の便覧・基礎の学習1・つまづかない文法・プリント類など）を忘れないようにしましょう。
- ・授業ではよく聞き、よく考え、積極的に発言をし、分からないことは質問しましょう。
- ・グループでの話し合い活動に積極的に取り組み、学習を深めましょう。
- ・自分の考えや意見がよく相手に伝わるように工夫して発表する力を身に付けましょう。
- ・ワークやワークシートなど、提出物はきちんとやって提出しましょう。これらは大切な自分の記録になります。丁寧に書き、あとから読んで学んだことがわかるものを作りましょう。
- ・意味のわからない語句はまめに辞書をひいて、ノートに書き留めて覚えましょう。
- ・さまざまな分野の本を読み、自分の世界を広げ、深めていきましょう。

第 1 学年 社会科 年間指導計画

担当	橋本 木下	教科 目標	地理的および歴史的な見方・考え方を多面的・多角的に学ぶ活動を通して、持続可能な社会を視野に入れ、社会のさまざまな課題を主体的に追求し、国際社会で平和で民主的な社会を形成する公民としての資質・能力を育成する。	
教科書 副教材、用具		帝国書院 地理 歴史 地図帳		
地理				
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	序章	地図や資料から世界と日本の地域構成を学ぶ。 ア 大陸と海 イ 世界の地域と国々 ウ 地球儀と地図 エ 日本の位置と時差 オ 日本の領域と領土 カ 日本の都道府県	＜知識・技能＞ 世界と日本の地域構成の大観を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ 位置・分布に着目し世界と日本の地域構成の特色について考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜主体的に取り組む態度＞ 世界と日本の地域構成の課題を主体的に追及しようとしている。（小テスト・提出課題）	
5	世界の姿			
6	日本の姿			
7	世界各地の人々の生活と環境		地図や資料から世界各地における人々の生活・文化の特色と自然的・文化的環境との関係を学ぶ。 ア 寒帯 イ 冷帯 ウ 温帯 エ 乾燥帯 オ 熱帯 カ 高山帯	＜知識・技能＞ 世界各地の生活・文化と環境の特色を身に付けている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜思考・判断・表現＞ 世界・各地の生活・文化の特色と理由を、環境に着目し考えている。（小テスト・定期テスト・提出課題） ＜主体的に取り組む態度＞ 世界の生活・文化の課題を主体的に追及しようとしている。（小テスト・提出課題）
9				
10				
11				
12				
1		世界の諸地域		
2				
3				
歴史				

月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	序章 古代までの日本	年表や資料から年代や時代区分の意味や意義を学ぶ。 郷土の歴史遺産に関心をもつ。 世界と日本の古代文明・文化の大観と過程を相互の関係に着目して学ぶ。 ア 年代と時代 イ 郷土の歴史遺産 ウ 人類の進化 エ 古代の文明 オ 古代の文化と宗教 カ 世界史のまとめ キ 日本の原始文化 ク クニのはじまり ケ 古墳の時代 コ 律令国家の成立と発展 サ 王朝国家と文化の変化	<知識・技能> 世界と日本の古代文明・文化の大観と形成の過程を身に付けている。(小テスト・定期テスト・提出課題) <思考・判断・表現> 古代文明・文化を地理的環境や生産技術、文化の交流に着目して考えている。(小テスト・定期テスト・提出課題) <主体的に取り組む態度> 古代文明・文化が遺した課題を主体的に追求しようとしている。(小テスト・提出課題)
5			
6			
7			
9			
10			
11			
12	中世の日本	武家政治による地方の発展や、産業・技術・文化の発展を東アジア世界とのかわりに着目して学ぶ。 ア 武士の成長 イ 武家政治 ウ 庶民の成長と文化 エ 元寇と悪党 オ 南北朝と室町幕府 カ 勘合貿易 キ 東山文化 ク 応仁の乱と戦国時代	<知識・技能> 中世の過程を、武家政治や産業・文化の発展と結びつけて理解する力を身に付けている。(小テスト・定期テスト・提出課題) <思考・判断・表現> 中世の武家政治や産業・文化を自治や庶民の成長、海外との交流などに結びつけ多角的に考えている。(小テスト・定期テスト・提出課題) <主体的に取り組む態度> 中世の歴史、文化などが遺した課題を主体的に追求しようとしている。(小テスト・提出課題)
1			
2			
3			

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
評価の方法	小テスト 定期テスト 提出課題	小テスト 定期テスト 提出課題	小テスト 提出課題
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・プリントを中心に授業が進むので、問題を解くことや作業を通じて、知識や思考力を向上させてほしい。「知識・技能」「思考・判断・表現」の観点の評価は、主にテストで評価を行う。用語を覚えるだけでなく、説明する力も身に付けてもらいたい。
- ・レポートの作成やプレゼンテーション等は、主に「主体的に学習に取り組む態度」の観点で評価される。知識や思考につながりを意識しながら、作成し発表してもらいたい。

第1学年 数学科 年間指導計画

担当	藤間魁人 野崎秀太 金成舞子 佐藤弘樹	教科 目 標	基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに,事象を数理的に捉えたり,数学的に解釈したり,数学的に表現・処理したりする技能や数学的活動の楽しさや数学の良さに気付いて粘り強く考え,数学を生活や学習に生かそうとする態度を養う。	
教科書 副教材、用具		「新しい数学 1」(東京書籍)、「よくわかる数学の学習 1」(明治図書) 三角定規、コンパス、分度器、電卓		
月	単元(題材)名 教材名	単元(題材)のねらい 主な学習内容	主な評価基準と評価方法	
4 5 6	・算数から数学へ ・数の世界を広げよう 〔正負の数〕	① 正の数と負の数の必要性和意味を理解すること。 ② 正の数と負の数の四則計算をすること。	<知識・技能> 素数について理解し、素因数分解ができる。 正負の数の必要性を理科し,四則の計算方法を身に付けている。(定期考査,章末テスト) <思考・判断・表現> 正負の数の四則計算の方法や活用して様々な事象における変化を考察し表現することができる。(定期考査,章末テスト) <主体的に取り組む態度> 正負の数の必要性を考え,生活や学習に生かそうとしている。	
7	・数学のことは身に付けよう 〔文字と式〕	① 文字を用いることの必要性和意味を理解すること ② 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を知ること。	<知識・技能> 文字を用いることの必要性を理解し,文字を用いた式で表したり読み取ったりすることができる。(定期考査,章末テスト) <思考・判断・表現> 文字を用いた式を活用して,具体的な事象を考察し表現することができる。(定期考査,章末テスト) <主体的に取り組む態度> 文字を用いることの必要性や学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク)	
9	・未知の数の求め方 〔方程式〕	① 方程式の必要性和意味及び方程式の中の文字や解の意味を理解すること。 ② 簡単な一元一次方程式を解くこと。	<知識・技能> 方程式の必要性を考え,等式の性質を理解し,一次式や比例式を計算することができる。(定期考査,章末テスト) <思考・判断・表現> 方程式を解く方法や移行できる理由を考察し,具体的な場面で活用し問題を解決することができる。(定期考査,章末テスト) <主体的に取り組む態度> 方程式の必要性を考え,学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク)	
10	・数量の関係を調べて問題を解決しよう 〔比例・反比例〕	① 関数関係の意味を理解すること。 ② 比例,反比例について理解すること。 ③ 座標の意味を理解する。 ④ 比例,反比例を表,式,グラフなどに表すこと。	<知識・技能> 関数関係の意味を理解し,比例,反比例を表,式,グラフなどに表すことができる。(定期考査,章末テスト) <思考・判断・表現> 比例,反比例として捉えられる2つの数量について,それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。(定期考査,章末テスト) <主体的に取り組む態度> 関数関係の意味を考え,比例,反比例について学んだことを	
11				

1 2	・平面図形の見方を広げよう 〔平面図形〕	① 角の二等分線,線分の垂直二等分線,垂線などの基本的な作図の方法を理解すること。 ② 平行移動,対称移動及び回転移動について理解すること。	生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク) ＜知識・技能＞ 図形の移動について理解し,角の二等分線や垂直二等分線の作図の方法を理解している。(定期考査,章末テスト) ＜思考・判断・表現＞ 二つの合同な図形の関係や基本的な作図の「方法を考察し,表現することができる。(定期考査,章末テスト) ＜主体的に取り組む態度＞ 平面図形の性質や関係を捉えることの必要性を考え,学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク)
1	・立体の見方を広げよう 〔空間図形〕	① 空間における直線や平面の位置関係を知ること。 ② 扇形の弧の長さと面積,基本的な柱体や錐体,球の表面積と体積を求めること。	＜知識・技能＞ 空間における直線や平面の位置関係を理解し,柱体や錐体,球の表面積と体積を求めることができる。(定期考査,章末テスト) ＜思考・判断・表現＞ 空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えたり,平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだしたりすることができる。(定期考査,章末テスト) ＜主体的に取り組む態度＞ 空間図形の性質や関係を捉えることの必要性を考え,学んだことを生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク)
2	・データを活用して判断しよう 〔データの分析と活用〕	① ヒストグラムや相対度数などの必要性和意味を理解すること。 ② コンピューターなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理すること。	＜知識・技能＞ ヒストグラム,相対度数,累積度数,累積相対度数,代表値,範囲や多数回の試行による確率の必要性を理解している。(定期考査,章末テスト) ＜思考・判断・表現＞ 目的に応じてデータを収集,分析し,そのデータを読み取り,批判的に考察し判断することができる。(定期考査,章末テスト) ＜主体的に取り組む態度＞ ヒストグラム,相対度数や多数回の試行によって得られる確率の必要性や意味を考え,生活や学習に生かそうとしている。(ノート,ワーク)
3	数学の自由研究		

少人数制で授業を行っていきます。(標準コースと発展コース)

評価計画 (各観点の評価方法と比率)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・定期考査 ・章末テスト 等	・定期考査 ・章末テスト ・課題への取り組み方 等	・授業中の取り組み ・ワーク、ノート、課題などの取り組み ・自己評価・相互評価 等
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ☆ 一番大事なのは授業中の集中と理解です。次に、分からないことをそのままにしないで友達や先生にたくさん質問することです。「継続は力なり」なので、授業のあった日は必ず復習して、教科書、ワーク、プリントなど教材を使って、根気よく、粘り強く取り組んでください。地道にコツコツ頑張る人が必ず力を伸ばします。
- ☆ 定期考査の得点を気にすることは当然ですが、授業で理解したことを確認するのがテストであり、また普段の授業も成績に入っていることを忘れずに。
- ☆ 定期考査では、授業でどれだけ話を聞いて頑張っているかが分かるような問題を出題します。

【評価】 主体的に学習に取り組む態度は次のポイントを押さえてください。

- ・ワークは自分の力で頑張って仕上げましょう。答え合わせをして間違いがあればきちんと直しましょう。分からなかった問題はそのままにせず、解説などを参考に理解する努力をしましょう。
- ・ノートは「気付いたこと」や「先生のアドバイス」もメモしておくことで後で役立ちます。問題を解くときは、答えのみではなく途中式もきちんと書くようにしましょう。

第1学年 理科 年間指導計画

担当	藤井 八木	教科 目標	(1)自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
教科書 副教材、用具		新しい科学 (東京書籍) がっちりシリーズ理科 1年のふり返し、ラインズ e ライブラリ	
月	単元(題材)名 教材名	単元(題材)のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4 5 6	いろいろな生物 とその共通点	- 身近な生物の観察 - 果実をつくる花のつくり - 裸子植物と被子植物 - 花をさかせず種子を作らない植物 - さまざまな植物の分類 - 身近な動物の分類 - セキツイ動物と無セキツイ動物 - 動物の分類表の作成	<知識・技能> 動植物の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 動植物についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 動植物の観察、実験に進んでかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)
7 8 9	身のまわりの物質	- 物の調べ方 - 金属と非金属 - さまざまな金属の見分け方 - 白い粉末の見分け方 - 身のまわりの気体の性質と集め方 - 物質が水にとけるようす - 溶解度と再結晶 - 物質の状態変化と質量・体積の変化 - 状態変化が起こる温度と蒸留	<知識・技能> 身のまわりの物質の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 身のまわりの物質についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 身のまわりの物質の観察、実験に進んでかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)
10 11 12	身のまわりの現象	- 物の見え方 - 光の反射と屈折 - レンズのはたらき - 音の伝わり方 - 音の性質 - 力のはかり方 - 力の表し方 - 力のつりあい	<知識・技能> 光・音・力に関わる現象の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 光・音・力に関わる現象についての問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 光・音・力に関わる現象の観察、実験に進んでかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)
1 2 3	大地の変化	- 火山の姿から分かること - 火山がうみ出すもの - 火山の活動と火成岩 - 火山とともにくらす - 地震のゆれの伝わり方 - 地震が起こるところ - 地震に備えるために - 地層のつくりとはたらき - 堆積岩・地層や化石 - 大地の変動と歴史	<知識・技能> 火山や地層・岩石の共通点や相違点に着目しながら、観察、実験のしかたについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。(ワークシート、小テスト、定期考査) <思考・判断・表現> 火山や地層・岩石についての観察、実験などを通して、共通点や相違点を見いだすとともに分類するための観点や基準を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。(ワークシート、小テスト、定期考査) <主体的に取り組む態度> 火山や地層・岩石の観察、実験に進んでかわり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。(ワークシート)

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ 実験・観察・実習の取り組みの様子（レポート含む） ・ 授業の取り組みの様子 ・ 小テスト等	・ 思考課題 ・ 定期考査 ・ 実験レポートの考察 ・ 小テスト等	・ 授業の取り組みの様子 ・ 思考課題 ・ 授業中の発言 ・ ノートの記入状況 ・ 定期考査のふり返し ・ ワークやデジタル教材への取り組みの様子
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・ 理科の授業で重要なことは、「考えること」です。日常生活の中で「なんだろう」と思うことや、与えられた思考課題について自分の頭で考えることを習慣づけましょう。そして、他の人の意見を聞きながら自分の意見を再構築していく経験を重ねることで、科学的な思考力はどんどん向上していくはずです。
- ・ 観察、実験、実習には主体的に取り組みましょう。自分の手を動かすことで、理解度も上がり、しっかりと記憶に刻まれます。
- ・ 理科では予習よりも復習が大切だと考えています。その日に学習した内容を、その日のうちに自宅でタブレットやノートを使いながら必ず復習をしましょう。
- ・ 提出物は必ず期限を守って提出しましょう。
- ・ 定期考査に向けてしっかりと準備をしておきましょう。一番はじめに行うべきは、授業内容の理解です。タブレットやノートを使ってまず復習をしましょう。また、重要語句は漢字で書けるようにしておきましょう。問題を繰り返し解いてみることも大切です。自分が本当に理解しているかを確認、疑問やわからないところがあったら、自分で調べたり質問したりして解決しましょう。
- ・ 忘れものをしないように気を付けましょう。忘れものをすると十分に学習に取り組むことができません。
- ・ 欠席などで受けられなかった授業の内容は忘れずに早めに補充をしておきましょう。

第1学年 音楽科 年間指導計画

担当	柏倉かほる	教科 目標	音楽の学習や活動を通して、豊かな心を育成し、音楽を愛好する心を養う。	
教科書 副教材、用具		中学生の音楽 1（教育芸術社） 音楽のおくりもの中学器楽（教育出版） コーラスフレンズ（教育芸術社）、アルトリコーダー、箏		
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容		主な評価規準と 評価方法
4	校歌（斉唱）	・中学生としての自覚を促し、歌詞を覚え、旋律の流れをつかんで歌う。		・校歌…正しい音程、明確な発音→実技テスト
5	We'llFindTheWay	・歌詞にこめられた思いを生かし、発声の仕方に気を付けながら、表現を工夫して歌う。		【技能】 歌詞、曲の特徴、作者など→定期考査【学習に向かう態度】
	MyVoice	・旋律の重なり方に注目し、互いの声を聴き合って歌う。		・姿勢や呼吸法…巡回観察【思考・・判断表現】
	主人は冷たい土の中に	・姿勢や呼吸に注意して、明るく響きのある歌声を見つける。		・構成、特徴、作者、歌詞など→定期考査【知識】
6	春～第 1 楽章～	・曲の構成を感じ取って歌う。		・鑑賞のシート…ソネットや弦楽器の音色に注目した感想【思考・判断・表現】
	リズムゲーム（創作 1）	・旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して歌う。		・リズム創作→発表【思考・判断・表現】
	浜辺の歌	・音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべて聴く。		・歌唱のシート…拍子の感得、歌詞と情景の関係→定期考査【思考・判断】
7	アルトリコーダーの導入	・合奏と独奏の対比や、曲の構成に気を付けながら聴く。		・運指とタンギング→チェック【技能】
	MyMelody	・音符や休符の長さの割合を理解して、リズムを作る。		・短い旋律の創作→発表【思考・判断・表現】
	大切なもの（混声三部合唱）	・情景を思い浮かべながら、表情豊かに歌う。		・実技テスト→音程・発音【技能】発声・曲想【思考・判断・表現】
9	赤とんぼ	・8分の6拍子にのって、フレーズを感じ取りながら歌う。		曲の特徴など【思考・判断】
	合唱コンクールの自由曲（混声三部合唱）	・基礎的な運指、タンギング、アーティキュレーションを学習する。		・歌唱のシート…作者の思いと歌詞から感得したことの表記【思考・判断】→定期考査
	魔王 Erlkonig（鑑賞 2）	・音のつながり方の特徴を生かして旋律をつくる。		・合唱コンクールにて発表【知識・技能】
10		・パートの役割を理解し、詞の内容を考えながら正しい音程で表現を工夫して歌い合わせる。		・ワークシート…作者からのメッセージ、曲の内容を考察【思考・判断】
		・混声合唱の響きを生かしながら、互いの声や伴奏をよく聴いて歌う。		・魔王の鑑賞のシート…バリトン歌手の歌い方、詩の内容をとらえた感想【思考・判断】
		・情景を思い浮かべながら、旋律の動きや強弱の変化と曲想との関わりを感じ取り、思いをこめて歌う。		
11	合唱コンクールの自由曲（混声三部合唱）	・言葉の美しい響きを生かしながら、発音に気を付けて歌う。		
		・各パートの役割や、旋律の重なり方の違いに注意して、表現を工夫して歌う。		
		・作者のメッセージを理解し、曲想を感じ取って表現を深める工夫をして歌う。		
12	魔王 Erlkonig（鑑賞 2）	・詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。		
		・語り手、父、庫、魔王の旋律の雰囲気や歌い方の違いに注目しながら聴く。		
1 1	Edelweiss	・旋律の動きや拍子を意識しながら、発音に気		・曲の特徴【知識】→定

1 2	(英語の歌) アジアの諸民族の音楽(鑑賞3)	を付けて英語で歌う。 ・アジアの国特有の楽器の音色、旋律の特徴などに気を付けながら、それぞれのよさや美しさを味わって聴く。	期考査 ・鑑賞のシート…国の特徴をとらえた感想【思考・判断】 ・雅楽(管弦)の特徴【知識】→定期考査
1	雅楽「平調越天楽」～管弦～ (鑑賞4)	・楽器の音色や旋律の特徴などに注意しながら、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。	・鑑賞のシート…序破急、箏の音色をとらえた感想【思考・判断】
2	箏曲「六段の調」 (鑑賞5)	・箏の音色、旋律の特徴、速度の変化に気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。	・さくらさくらの主旋律【技能】→実技テスト
3	箏の演奏「さくらさくら」	・楽器の特性を理解して、奏法を身につける。 ・箏の音色や余韻の変化を感じ取る。	・短い旋律を創作【思考・判断・表現】→発表
2	日本の音楽をつくる(創作2)	・平調子(陰音階)、乃木調子(陽音階)を得し、短い旋律をつくる。	・1曲を選択して原稿作り→プレゼンテーション【思考・判断・表現】
3	曲のよさをプレゼンする	・学んだことを生かして、薦めたい1曲を選び、その曲のよさを音楽と関連付けてプレゼンテーションする。	

評価計画(各観点の評価方法と比率)

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・実技テスト ・定期考査 ・授業内小テスト	・実技テスト ・定期考査 ・ワークシート ・授業内小テスト	・ワークシートへの記入内容 ・提出物の状況 ・音楽活動に取り組む態度(観察) ・自己評価への記入
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

音楽活動は、自己表現の一つの姿です。授業には、次のように取り組むことを期待します。

- 1 どんなことも、「めんどくさいと思わずに活動してみる」こと。とにかく、何事も「やってみる」ことが大切です。
- 2 実技や知識に関して、「分からない」ことがあれば質問をしてください。前に進むには、そこで立ち止まらない状態をつくることです。
- 3 授業で使用する物は、いつも準備しておきましょう。たとえば教科書がないと、その時間、何をしているのか分からないという状態になってしまいます。そこで、小学校のときと同じように、音楽専用のバッグを用意してください。

【音楽バッグの中】 ・教科書(2冊) ・A4版ファイル(プリントや楽譜類)
・コーラスフレンズ(合唱曲集) ・筆記用具

「音を楽しむ」ことが一番のねらいです。音楽活動を通して、豊かな心を育てていきましょう。

第 1 学年 美術科 年間指導計画

担当	浜谷佳菜	教科 目標	(1)対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。	
教科書 副教材、用具		教科書 資料集 用具	美術 1（光村図書） 美術資料（秀学社） クロッキー帳、ポスターカラー、タブレット、鉛筆、粘土、彫刻刀等	
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法	
4	オリエンテーション	○美術についての理解を深める ・図工と美術の違い ・美術的なものの見方・考え方 ・評価方法の確認		
5	見つめて、感じて、描いてみよう	○見たものの形や色の美しさを感じ取り、そのままを描き出すことの楽しさを味わいながら、部分と全体との関係を考え構想を練る。 ・デッサンを含む、「描く」ということ ・構図と配置 ・形や光の捉え方	<知識・技能> ものの形や光の捉え方を理解し、構図や配置を考えて、鉛筆の濃淡を工夫して陰影を表現する技能を身につけている。(観察、作品、定期考査) <思考・判断・表現> モチーフを観察して感じ取った形や色の美しさを基に主題を生み出し、構図や配置、デッサンの濃淡の表現を工夫し主題に合わせた表現をしたり、他者の作品を鑑賞したりすることでさまざまな濃淡の表現方法の違いや形の捉え方を身に付けている。(ワークシート、定期考査) <主体的に取り組む態度> モチーフを観察して積極的に形や色の特徴や美しさを感じ取り、構図や配置を考え、形や光を捉え濃淡での表現をしようとしている。(ワークシート)	
6 7	文字で楽しく伝える	○伝える条件を基に、相手や内容などから主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどとの調和を考え、表現の構想を練る。 ・レタリング ・色の与える感情効果 ・絵の具の使い方	<知識・技能> オノマトペの音や意味から想像されるイメージを基に、見る人に伝わりやすく美しい文字の形や色の与える感情効果を工夫して表現したり、デザインを生かした着彩方法や手順を身に付けてりしている。(観察、作品、定期考査) <思考・判断・表現> オノマトペの音や意味から想像されるイメージを基に主題を生み出し、他者に伝わるように形や色の工夫を考えている。(ワークシート、定期考査)	

9	自然の色や形を見つめて	○野菜の形や色、質感の美しさなど感じ取ったことから主題を生み出し、表現の構成を工夫する。 ・粘土での野菜の制作 ・色の三原色や混色の学習	<主体的に取り組む態度> オノマトペの音や意味からより伝わりやすいデザインや配色のパターンの試行錯誤をしたり、絵の具の着彩手順や方法を工夫したりしようとしている。 (ワークシート) <知識・技能> 野菜の形や色を観察して生み出した主題に合わせて、道具を選択して形成を工夫したり、色の知識を身に付けて、混色や重色を工夫したりしている。(観察、作品、定期考査) <思考・判断・表現> 野菜を見たり触ったりして見つけた新たな発見などを基に主題を生み出し、混色や重色を利用して手を表現しようと考えている。(ワークシート、定期考査) <主体的に取り組む態度> 野菜を観察して積極的に野菜の形や色の特徴などを感じ取り取ろうとしたり、混色や重色をして手の色味を再現しようとしていたりしている。(ワークシート)
10			
11			
12	生活の中の焼き物	○使う目的や条件などを基に、使用者や材料から主題を生み出し、機能や美しさの調和を考え、表現の構想を練る。 ・板づくり ・形の構成	<知識・技能> 板づくりの知識や制作手順を身に付け、粘土の特徴や使用目的に合わせて形や色を選択し、表現を工夫することができる。(観察、作品、定期考査) <思考・判断・表現> 板づくりの特徴から使用方法に合わせて、形や色の表現の工夫を考えている。 (ワークシート、定期考査) <主体的に取り組む態度> 板づくりの特徴から、機能と美しさの調和を考えながらデザインを工夫したり、用具の使い方や制作の手順を工夫したりしようとしている。(ワークシート)
1			
2			
3	生活をいろいろ文様	○生活の中に根付いている日本の文様や、生活を美しく豊かにする美術の働きについて考え、見方や感じ方を広げる。 ・日本の伝統文様	<知識・技能> 生活の中に根付いている日本の文様について理解し、身近なものから美術的要素を見つけることができる。(ワークシート、定期考査) <思考・判断・表現> 身近なものから美術の働きについて考え、生活を美しく豊かにするという視点で自身の考えをもったり、他者の意見から見方や考え方を広げたりしている。(ワークシート)

			<主体的に取り組む態度> 身近なものから生活を豊かにするものをたくさん見つけたり、他者の意見を聞き多様な見方や感じ方を知ろうとしたりしている。
--	--	--	---

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
----	-------	----------	---------------

評価の方法	・ 作品 ・ ワークシート ・ 作業の様子 ・ 定期考査	・ 作品 ・ ワークシート ・ スライド（振り返り） ・ 作業の様子 ・ 定期考査	・ ワークシート ・ スライド（振り返り） ・ 提出物の状況 ・ 授業に取り組む態度 ・ 定期考査
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

「知識・技能」

・ 中学校の美術では楽しく創作活動に取り組むだけではなく、美術的な知識や表現方法を学びます。そういった知識や技能が身についているかを定期考査や作業の様子、出来上がった作品から評価をします。定期考査も作品制作もどちらも一生懸命に取り組みましょう。

「思考・判断・表現」

・ 制作中の作品や、自分の考えを記入するワークシートの内容から、作品制作の中で自分なりの考えをもち、工夫をこらすことができているかを評価します。また、定期考査でも美術的な考え方が身についているか等を見取ります。

「主体的に学習に取り組む態度」

・ 毎時間授業の終わりに作成するスライドや、授業中の制作に取り組む態度、知識や技能を身に付けるための取り組みを評価します。毎時間の積み重ねが大切になるので、集中して取り組みましょう。

「その他」

・ 分からないことがあれば、いつでも積極的に質問してください。ひとりでは難しい課題があればアドバイスを聞いたり、手助けを求めたりすることも大切です。わからない・できないままという事がないようにしましょう。

・ 3年間を通して、自分なりの視点をもつこと、「美」を感じ取り味わう心を育てていきましょう。

第1学年 保健体育科 年間指導計画

担当	小澤・鈴木	教科 目標	(1) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (3) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。	
教科書 副教材、用具		中学保健体育（学研） 図解中学体育（暁教育図書）		
月	単元名 教材名	単元のねらい 主な学習内容	主な評価項目	
4	体づくり運動 (集団行動含む)	・ 体ほぐしの運動 手軽な運動	《知識・技能》 ・ 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 ・ 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・ 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする こと、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
	陸上競技 短距離走・リレー	・ 50、100、200m ・ バトンパス	《知識・技能》 特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解している。短距離走・リレーでは滑らかな動きで速く走ることやバトンの受け渡しでタイミングを合わせることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
6	球技 バレーボール	・ ボール操作 ・ ボールを持たない動き ・ 簡易ゲーム	《知識・技能》 バレーボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防ができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 バレーボールやバスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)	
	保健 健康な生活と疾病の予防	・ 主体と環境 ・ 運動、食事、休養及び睡眠	《知識・技能》 健康な生活と疾病の予防について、理解している(主体と環境、運動、食事、休養)。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 健康な生活と疾病の予防についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)	
7	体育理論 運動やスポーツの多様性	・ スポーツの始まりと発展	《知識・技能》 運動やスポーツが多様であることをについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) ※技能に係る評価の対象はなし 《思考・判断・表現》 運動やスポーツが多様であることをについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツが多様であることをについての学習に積極的に取り組もうとしている。	
			いる。	

	水泳	・クロール ・平泳ぎ	《知識・技能》 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。クロールでは手の足の動き、呼吸のバランスなどをと早く泳ぐことができる。平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 水泳に積極的に取り組むとともに、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど、健康や安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
9	保健	・身体機能 ・思春期	《知識・技能》 心身の機能の発達と心の健康について、理解している(身体・思春期)・精神機能・欲求やストレス)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	球技 ソフトボール	・ボール操作 ・バット操作 ・走塁動作 ・簡易ゲーム	《知識・技能》 ソフトボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。基本的なバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と定位置での守備などによって攻防することができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ソフトボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	陸上競技 長距離走	・ペース走 ・記録会	《知識・技能》 長距離走の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ペースを守って走ることができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 長距離走に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守り、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
10	保健	・精神機能 ・欲求やストレス	《知識・技能》 心身の機能の発達と心の健康について、理解している(精神機能・欲求やストレス)。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 心身の機能の発達と心の健康についての学習に自主的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	体づくり運動	・体の動きを高める運動 ・体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを継続する能力を高めるための運動	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどしたり、健康に気を配ったりしている。
	器械運動 マット運動	・回転系 ・巧技系	《知識・技能》 マット運動の特性や成り立ち、技能の名称や行い方について理解し、基本的な技を滑らかに行うことができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
11			

1	2	柔道	・礼法 ・受け身 ・固め技 ・投げ技	《知識・技能》 武道の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。相手の動きに応じた基本動作や基本となる技を用いて投げたり抑えたりするなどの簡易な攻防を展開できる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 武道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
	1	体育理論	・スポーツへの多様な関わり方 ・スポーツの多様な楽しみ方	《知識・技能》 運動やスポーツが多様であることをについて理解している。 ※技能に係る評価の対象はなし(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
2	2	ダンス 現代的なリズムのダンス	・リズムダンス(一部創作)	《知識・技能》 ダンスの特性や由来、表現の仕方などについて理解している。リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って表現している (授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ダンスに積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、交流などの話し合いに参加しようすることなどしたり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
		体づくり運動	・体力を高める運動	《知識・技能》 体づくり運動の意義と行い方、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などについて理解している。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 ・体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとする、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようすることなどしたり、健康に気を配ったりしている
3		球技 サッカー	・ボール操作 ・ボールを持たない動き ・簡易ゲーム	《知識・技能》 サッカーの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 サッカーに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)
		球技「ゴール型」 バスケットボール	・ボール操作 ・ボールを持たない動き ・簡易ゲーム	《知識・技能》 バスケットボールの特性や成り立ち、技術の名称や行い方を理解している。ボール操作と空間に走りこむ動きなどの動きができる。(授業観察・ワークシート・定期考査・実技試験) 《思考・判断・表現》 自己の課題を発見し、合理的な解決にむけて運動の取り組み方を工夫し、自己の考えを他者に伝えている。(授業観察・ワークシート・定期考査) 《主体的に学習に取り組む態度》 バスケットボールに積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ったり、健康・安全に気を配ったりしている。(授業観察・ワークシート)

※種目の順番や内容は変更となることがあります。

教科における具体的な言語活動

- ・グループ学習を通して運動のポイントの教え合いを行い、個々の技術向上のきっかけとする。
- ・学習カードの利用で、自己の運動課題や到達度を言語化し、学習に見通しや計画性をもつ。

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	①定期テスト「知識」にかかわる範囲の得点。 ②学習カードの記述内容 ※①②より読み取れる知識を評価する。 ③技能の習得度 ※③を単元毎に設定し、評価をする。 ※具体的な実技課題や数値目標、評価の観点などは授業内で説明を行う。	①学習カードやノートの記述内容 ・課題設定（自己能力分析） ・課題解決（練習などの工夫） ・活動の記録 ・自己・相互評価 ・まとめ（考察） ②定期テスト「思考力、判断力、表現力等」にかかわる範囲の得点	① 学習カードやノートの記述内容 ・自らの学習状況の把握、進め方、調整 ・振り返り、感想 ② 粘り強い取り組み ③ 授業中の発言内容 ④ 健康・安全への取り組み （集合・整列・準備運動の状況等） ※上記の授業の取り組み方を主に観察・記録し評価する。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

知識・技能

- ① 授業中の説明をよく聞くとともに、知識と技能を結びつけることができるようにする。
- ② プリント学習では時間内に要点をまとめる力をつける。
- ③ 自分の能力を最大限発揮できるように、練習を行う。
- ④ 難しい種目や技能に対しても、自己の課題を設定し、その目標にむけて積極的に取り組みましょう。

思考・判断・表現

- ① 自己の活動について、丁寧な振り返りを行うとともに書く力をつける。
- ② 課題に対して、仲間同士でアドバイスを積極的に行う。
- ② 課題解決にむけて、工夫した活動を行う。

主体的に学習に取り組む態度

- ① 課題に対し積極的に取り組むことができる。
 - ② 遅刻・見学・欠席・忘れものをしないで積極的に参加する。
 - ③ 健康・安全に配慮して活動する。
 - ④ 準備運動の動きや声出しをしっかりと行う。
- ※詳細は授業中に説明があります。

第1学年 技術・家庭科 (技術分野) 年間指導計画

担当	高橋 徹	教科目標	(1)生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 (3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
教科書 副教材、用具		技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて (開隆堂) 杉の間伐材、アガチステン	
月	題材名 教材名	題材のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	ガイダンス	○3年間の学習の見通しをもつ ・技術の役割 ・技術の見方・考え方 ・技術と生活・産業 ・技術とエネルギー・環境 ・受け継がれ発展する技術	<知識・技能> 生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み及び、材料と加工の技術と安全な生活や社会との関わりについて理解しているとともに、製作に必要な図をかき、安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能を身に付けている。(製作品、定期考査)
5	加工の技術	○材料と加工の技術 ・生活や社会と材料と加工の技術 ・材料を利用するための技術 ・問題解決の手順 ・製作のための技能 ・これからの材料と加工の技術	<思考・判断・表現> 生活の中から材料と加工の技術と安全に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして、課題を解決する力を身に付けているとともに、安全な生活や社会の実現を目指して材料と加工の技術の評価し、適切に選択、管理・運用する力を身に付けている。(ワークシート、定期考査) <主体的に学習に取り組む態度> 安全な生活や社会の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
6	・さしがね		
7	・両刃のこぎり		
8	・玄翁		
9	製作図の書き方		
10	本題材「木工オリジナル作品」の製作	○情報の技術 ・生活や社会と情報の技術 ・情報とコンピュータ ・情報の表現と伝達 ・情報セキュリティと情報モラル	<知識・技能> 生活や社会で利用されている情報の技術についての科学的な原理・法則や基礎的な技術の仕組み、情報モラルの必要性及び、情報の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解しているとともに、コンピュータを操作する基礎的な技能を身に付けている。(制作品、定期考査) <思考・判断・表現> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築を目指して情報の技術の評価し、適切に選択、管理・運用、改良、応用する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート) <主体的に学習に取り組む態度> よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、情報の技術を工夫し創造しようとしている。(ワークシート)
11			
12			
1			
2			
3	情報とコンピュータ		

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	定期考査 ワークシート 作品	定期考査 ワークシート 振り返りシート 作品	ワークシート 振り返りシート
比率	1／3	1／3	1／3

学習のアドバイス

- 1 授業の取り組み方、実習に対しては安全に積極的に参加しているかどうかを見ます。
- 2 製作品の完成度だけでなく、製作過程を評価します。毎時間の課題を達成できるようにしましょう。
- 3 学習したことを生活に取り入れて、よりよい生活を目指しましょう。
- 4 定期考査や毎時間の授業に取り組む姿勢、振り返りシートの記入状況、ワークシートの記入状況や内容、提出物などを含め、総合的に評価します。

第 1 学年技術・家庭科（家庭分野） 年間指導計画

担当	木原寛子	教科 目標	(1)家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2)家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (3)自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。
教科書 副教材、用具		技術・家庭 家庭分野 生活の土台 自立と共生（開隆堂） ワークノート A 家族・家庭生活（地域教材社） ワークノート B-1 食生活（地域教材社） ベーシッククッキングブック	
月	単元（題材）名 教材名	単元（題材）のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4	A 家族・家庭生活	・ガイダンス 3 年間の見通しをもたせる	＜知識・技能＞ 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解しているとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要があることに気づいている。（定期考査、ワークノート）
5	1. 自分の成長と家族・家庭生活	・今の自分とこれまで ・私の生活と家族・家庭 ・家庭を支える社会 ・中学生にとっての家族	
6	B 衣食住の生活（食生活）	・食事の役割 ・健康によい食習慣	＜知識・技能＞ 生活の中で食事が果たす役割について理解している。中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康によい食習慣について理解している。（定期考査、ワークノート）
7	1. 食事の役割と食習慣	・中学生の発達と必要な栄養 ・栄養素の働きと 6 つの基礎食品群 ・バランスのとれた献立	＜思考・判断・表現＞ 自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。（定期考査、ワークノート）
9	2. 中学生に必要な栄養を満たす食事	・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 ・食品の安全と情報	＜主体的に取り組む態度＞ よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。（ワークノート）
10	3. さまざまな食品とその保存		
11	4. 日常食の調理	・調理の計画 ・おいしさと調理 ・肉の調理について ・調理実習①	＜知識・技能＞ 日常食と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。食品や調理器具等の安全と衛生に留意した管理、加熱調理の仕方、地域の食文化について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。（定期考査、ワークノート）
12		・魚の調理について ・野菜の調理について ・調理実習②	＜思考・判断・表現＞ 日常の 1 食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的
1	5. 地域の食文化	・地域の食文化	

2		・ 献立作成 ステップ2	に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。(定期考査、ワークシート)
3	授業のまとめ	・ 持続可能な食生活をめざして	<主体的に取り組む態度> よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。(ワークシート、ワークノート)

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・ 定期考査 ・ 実技テスト ・ ワークノート、ワークシートの記入状況 ・ 授業の取り組みの様子	・ 定期考査 ・ ワークノート、ワークシートの記入状況 ・ 授業の取り組みの様子	・ 授業の取り組みの様子 ・ ワークノート、ワークシートの記入状況
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- 1 授業中の取り組み方、実習に対しては安全に積極的に参加しているかどうかを見ます。
- 2 完成した時の評価だけでなく、過程を評価します。毎時間の課題を達成できるようにしましょう。そして課題の提出日を守りましょう。
- 3 実技教科では分かっているだけでは半分です。学習したことを生活に取り入れて、よりよい生活を目指してください。
- 4 年間3回実施される定期考査だけで評価をするのではなく、毎時間の授業に取り組む姿勢、ワークシートやワークノートの記入状況、提出物などを含め、総合的に評価します。

第1学年 英語科 年間指導計画

担当	宮崎 比内 福富 瀧本	教科 目標	外国語におけるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を図る。
教科書 副教材、用具		NEW CROWN ENGLISH SERIES 1 (三省堂)、 英語マスターノート (明治図書)、新英語のワーク (明治図書)、学習用端末	
月	単元名 教材名	単元のねらい 主な学習内容	主な評価規準と評価方法
4月 5月	Lesson 1 About Me	・be動詞と一般動詞の現在形 (1・2人称) の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・be動詞と一般動詞の現在形 (1・2人称) の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 be動詞と一般動詞の現在形 (1・2人称) の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、自分のことについて即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び相手のことについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 (定期考査・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 ALTや海外からの留学生と交流をするという場面で、簡単な語句や文を用いて自己紹介をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。(定期考査・パフォーマンステスト) 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 (定期考査・授業観察・振り返りシート)
6月	Lesson 2 English Camp	・助動詞 can の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・助動詞 can の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 助動詞 can の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、自分や身のまわりのことについて即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりのことについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 (定期考査・パフォーマンステスト) 【思考・判断・表現】 自分の理想の街について簡単な語句や文を用いて、聞き手を意識しながら発表することができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。(定期考査・パフォーマンステスト) 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 (定期考査・授業観察・振り返りシート)
7月	Lesson 3 Our New Friend	・be動詞 (3人称) の肯定文・疑問文・否定文や What is this?、Who is this? や人称代名詞 (目的格) を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・be動詞 (3人称) の肯定文・疑問文・	【知識・技能】 be動詞 (3人称) の肯定文・疑問文・否定文や What is this?、Who is this? や人称代名詞 (目的格) の意味・形・使い方を理解し、身のまわりのことについて即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりのことについて聞いたり読んだりして内容を

		否定文や What is this?、Who is this? や人称代名詞（目的格）を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 ALT の先生に、日本文化について簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 （定期考査・授業観察・振り返りシート）
9 月	Lesson 4 My Family, My Hometown	・3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 3 人称単数現在形の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、身のまわりの人物について即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりの人物のことについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 自分の家族や好きな人物についての発表を、簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 （定期考査・授業観察・振り返りシート）
10 月	Lesson 5 School Life in the U. S. A.	・現在進行形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・現在進行形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 現在進行形の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、写真や絵の人物の動きについて即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりの人物のことについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 現在の自分や身のまわりの人の動作について実況をするという場面で、簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 （定期考査・授業観察・振り返りシート）

11月 12月	Lesson 6 Discover Japan	・一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、正確に書いたりする	【知識・技能】 一般動詞（規則・不規則）の過去形の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、自分や身のまわりの人の過去の出来事について即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりの人物のことにについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 自分の週末の出来事についてクラスメイトに話をすると言う場面で、簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 （定期考査・授業観察・振り返りシート）
1月	Lesson 7 Wheelchair Basketball	・be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・be 動詞の過去形の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 be 動詞の過去形の意味・形・使い方を理解し、自分や身のまわりの人の過去の出来事について即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりの人物のことにについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 冬休みの出来事について話したり、感想を述べたりする場面で、簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 （定期考査・授業観察・振り返りシート）
2月	Lesson 8 Green Festival	・助動詞 will の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を聞いたり読んだりして内容を捉える。 ・助動詞 will の肯定文・疑問文・否定文を理解し、それを含む英文を即興で話したり、即興で伝え合ったり、正確に書いたりする。	【知識・技能】 助動詞 will の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、自分や身のまわりの人の未来の出来事について即興で話したり、伝え合ったり書いたりする技能及び身のまわりの人物のことにについて聞いたり読んだりして内容を捉える技能を身に付けている。 （定期考査・パフォーマンステスト） 【思考・判断・表現】 自分の未来の予定について簡単な語句や文を用いて説明をすることができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 （定期考査・パフォーマンステスト）

			【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 (定期考査・授業観察・振り返りシート)
3月	Speech	・1年間で学習したことを生かし、 ‘About me’ というテーマでスピーチを行う。	【思考・判断・表現】 自分のことについて、簡単な語句や文を用いて発表することができる。また、即興で相手に質問をしたり、相手の質問に答えることができる。 (定期考査・パフォーマンステスト) 【主体的に取り組む態度】 主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 言語活動への取組に関して見通しを立てたり振り返ったりして、自らの学習を自覚的に捉えている。 (定期考査・授業観察・振り返りシート)

評価計画（各観点の評価方法と比率）

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の方法	・単元テスト ・定期考査 ・パフォーマンステスト ・授業やワークシート等への取り組み状況	・定期考査 ・パフォーマンステスト ・発表 ・作品 ・授業やワークシート等への取り組み状況	・授業や提出物、ワークシート等、粘り強く取り組む様子を評価する。 ・パフォーマンステストや発表などに粘り強く取り組む様子を評価する。 ・振り返りシートにおいて、自分の学習を振り返り、今後の学習に生かそうとしているかを評価する。
比率	1 / 3	1 / 3	1 / 3

学習のアドバイス

- ・英語の文を作る決まりや表現を知識として身に付けるだけではなく、それを読む、聞く、書く、話す（発表）、話す（やりとり）という場面で実際に使えるようにすることが大切です。また、目的、場面、状況を意識した実際のコミュニケーションの場で活用できるように学習をしましょう。
- ・英語に触れる機会を多く作ることも大切です。ラジオ講座やテレビの英語学習番組、英字新聞に触れるなど、英語のインプットを増やしていきましょう。
- ・自分で辞書を活用するなど、主体的に英語学習に取り組むようにしましょう。